

# せんしゆん

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索



ISO9001:2015認証取得  
日本医療機能評価(3rdG:Ver.2.0)認定病院

発行責任者：菊地 孝三



長岡天満宮付近 黄菖蒲咲く池の畔(長岡京市)

## 理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

## 基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

## 理念に基づいて 地域へ貢献



千春会病院 院長 藤原 仁史

美しく桜咲く季節となりました。皆様の職場でも、新しい職員を迎えて心新たにされていることと存じます。

元旦早々から能登半島地震の被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。まだまだインフラの復旧も道半ば、あるいは手付かずの地域も多いとの情報であり、被災された住民の方々の苦悩、心労と、それを支えようと頑張っておられる医療機関、介護・保育施設、各種事業所、行政・公官庁等の方々のご苦労は想像を絶するものと存じます。

発災直後から全国より支援が集まっていると伝え聞きますが、3月初めに石川県七尾市の総合病院には、千春会の医療・介護の支援チームを受け入れていただきました。DMAT等の出動する災害急性期を過ぎ、現在は発災から数か月経過した災害亜急性期に入っている段階です。とはいえ、生活の基本となる上下水道が完全には復旧しておらず、道路などの交通事情が日常には程遠いという中で、少しでもお役に立ちたいという思いから、医師、看護師、リハビリ療法士、介護士、事務職員の5名を支援チームとして3グループ編成し、微力ではありますが交代で3週間活動させていただきました。

能登半島では医療・介護・それを支える事務方の第一線で働く皆様自身も被災されており、疲労困憊しておられますので、ほんの少しでも現場の方々が休息でき、患者さん・利用者さんのお力になればと考えておりました。しかし、その支援の中での経験は、今後どの地域でも起こりうる災害の際の備えの重要性を理解して、私たち自身の意識・知識を高める意味でも、大変貴重なものとなりました。そして何よりも現地で一生懸命働いておられる方々の姿から、私たちの方が逆に大きなエネルギーをいただくことができました。この紙面を借りて、丁寧に受け入れいただいた皆様方に感謝申し上げますとともに、一日も早い

日常生活の回復を心よりお祈り申し上げます。

千春会は理念に基づき、地域に貢献するということを第一に考えて参りました。今後もその方針には変わりなく進んで参ります。

新型コロナウイルス感染の混乱からようやく脱しつつある現在ですが、これから益々増加すると考えられる高齢者救急、特に整形外科の医療の提供に関連して、この3月から新たに麻酔科の常勤医が我々の仲間に加わりました。一昨年からの専門性の高い整形外科医の増員と高機能手術室の増設、MRIの導入とともに、量的にも質的にも充実した整形外科領域の医療を、更に安全に実施できることを期待しています。

また、5月からは血液内科・緩和医療を専門とする常勤内科医も入職する予定です。高齢者の日常診療と救急、院内・施設内・通所と自宅でのリハビリに加え、在宅医療・看護、終末期医療、在宅看取りといった、これからも増え続けるニーズに対応していきたいと考えています。

今年に入って看護部には、各種専門領域を学んだ経験豊富な認定看護師が2名(心不全看護認定看護師、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の各1名)が入職して参りました。看護部全体の向上を図り、MSWや公認心理師らの多職種とも協力して、医療と介護を融合させて地域に貢献していきたいと考えています。

菊地孝三理事長を筆頭に「地域のかかりつけ病院」としての役割を果たすべく、平成9年よりこの地で活動を始めて参りましたが、これからも更にスタッフの力を結集して、より質の高い医療・看護・介護・保育サービスを提供していきたいと考えます。

これからも共に頑張ってお参ります。どうぞよろしくお祈り申し上げます。

例年取り組んでいる「ISO9001:2015」認証の更新審査を終了いたしました。病院・全事業所が審査対象であり、改善すべき点もありますが、サーベヤーからは総評にあたり「高く評価できる事項」として、信頼性の高い手術、看護の提供をはじめ、介護事業所では介護老人保健施設春風及び桃山の在宅復帰への取り組み、適切な内部コミュニケーションや多職種によるサービス提供、管理部車両管理における法人内車両整備による修理費コストダウン等が高く評価されました。

介護利用者数の増加においてもスタッフが献身的に注力している点や医療と介護の質の可視化が進んでいることなどが評価されました。

また、前回審査から大きく変化した点として、病院では常勤医師や診療科増加などによって患者数が増大したことや乙訓圏（長岡京市、向日市、大山崎町）以外からの患者さんが多くなり年齢、性別における変化等が上げられました。

これからも改善事項に真摯に取り組み、このような「外部評価」のみならず、相互に確認し合う「内部評価」の実施も継続しながら、さらに「より良質な医療・看護・介護の提供」「より良い組織運営」を目指して職員一丸となって励んでまいります。



サーベヤー（左側）との打ち合わせを行う  
菊地孝三理事長（右側中央）、藤原院長（右隣）、  
菊地副理事長（右側端）をはじめとする法人管理責任者



ご報告

新任常勤ドクター紹介 3月より

新任のご挨拶

皆様はじめまして。3月1日より麻酔科常勤として勤務しております、嵯峨慶子と申します。

秋田大学医学部を卒業後、地元山形県で外科医として研修し、縁あって麻酔科に転向し、関西に来まして早20数年となりました。

以前勤務しておりました病院で一緒しました金村副院長先生をはじめ、整形外科の先生方や手術室看護師に久しぶりに再会し、お誘いを受け、この度千春会病院で麻酔科常勤として勤務させていただくこととなりました。

千春会病院では、最新の設備の揃った手術室で、人工関節手術から骨折の手術まで多種多様な手術を行っており、手術件数も急増しています。

乙訓地域の皆様が安心して手術を受けていただけるよう、手術前に麻酔科外来で患者様のお話をお伺いし、手術中から手術後まで、主治医の先生方や手術室看護師をはじめ院内のメディカルの皆様と協力しながら、患者様に寄り添った快適な麻酔を心掛けております。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科  
嵯峨 慶子先生

プロフィール

- 【学歴】  
H11 秋田大学医学部卒業
- 【職歴】  
H11 山形県立中央病院  
H14 京都大学医学部付属病院  
H14 大阪赤十字病院  
H19 京都医療センター  
H30 京都下鴨病院
- 【専門】  
麻酔科
- 【資格】  
厚生労働大臣許可 麻酔科標榜医  
日本麻酔科学会認定 麻酔科認定医  
日本専門医機構認定 麻酔科専門医  
日本麻酔科学会認定 麻酔科指導医



一昨年に引き続き、金村副院長を中心に蘇生のためのトレーニングコース「第2回 ICLSせんしゅんコース」を千春会病院にて開催いたしました。病院や介護施設はもとより、日常生活の中でも救急対応を余儀なくされることがあります。講習会では、その場に遭遇した際、迅速・



高性能ボディでチームでの動きを学ぶ受講者

適切な行動と処置が行えるよう、蘇生のためのレクチャーを行います。受講資格は医師、看護師、セラピスト、介護職員、事務職等幅広い職種となっており、蘇生学習コース修了者には日本救急医学会より「コース認定」がなされます。

今回は看護師、臨床工学技士、介護職員はじめ乙訓消防から救急救命士が参加し、第1回の受講を修了した看護師が講師陣に加わるなど、さらに充実した体制となりました。

講師の方々(後方)と  
認定証を持つ修了者の皆さん(前方)

まず始めに実際の蘇生映像にて初動の重要性を再確認。その後、小グループに分かれ、BLS(1次救命処置)が全員確実に実施できるよう繰り返し指導が行われました。遭遇したことの無い方も多いのですが、人形への挿管やAED操作等初めてのことに積極的に取り組みました。実際の現場を想定した状況下で、蘇生チームの一員として協力しながら迅速・的確にどのように動くべきかを学ぶため、声や反応が確認できる高性能ボディを使って、実に臨場感あふれる研修が行われました。

医師の的確な指示や救急救命士の無駄のない動き、看護師の迅速なサポートなど様々な職種が双方向に学び合える有意義な講習会となりました。これからも、医療従事者の方々が救急時にしっかり対応できるよう講習会を重ねてまいります。

### ICLS(Immediate Cardiac Life Support)とは

医療従事者のための蘇生トレーニングコース。救急性の高い病態のうち、特に「突然の心肺停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としている。(日本救急医学会 ホームページより)

## これからの地域医療のために ドクター研修

千春会では、済生会病院や京都府立医科大学と連携し、地域医療研修として医師を受け入れています。今年も当法人が展開している「医療と介護の融合」による地域医療研修として、院内だけでなく訪問診療同行や介護施設での研修など様々な経験を重ねていただきました。1か月研修を終え、飯田医師からは「地域医療研修というと離島の研修イメージでしたが、まちの中で



研修中の飯田Dr(右)と当院皮膚科奥田Dr(左)

様々な機能の介護施設や訪問など幅広く充実した支援をチームで対応されており、患者さんの退院後の生活をイメージすることが出来、今後の医師としての活動に大変勉強になりました。」との感想をいただきました。

研修を通じて、地域とのつながりを細やかに意識していただけただけで、今後の糧になれば幸いです。

## 能登半島地震 災害支援へ

# 日本栄養士会(石川県栄養士会の協力依頼に基づき)からの要請にて 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)活動 スタッフとして栄養科 谷中統括主任 現地へ

日本栄養士会からの要請を受け、千春会からは「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)」の活動スタッフとして栄養科谷中統括主任が七尾市と金沢市へ赴き、食品や栄養に関わる支援を行いました。行政派遣の管理栄養士や他府県のJDA-DATスタッフとの打ち合わせから始まり、七尾市では避難所責任者から必要物資の聞き取り、食品物資の積み込み、栄養相談、栄養バランスを考慮した食品陳列まで行いました。さらに金沢市の高齢、障害、妊婦、乳児など配慮を必要とする1.5次避難所へ赴き、嚥下食提供、献立表の提示、品出し、配食弁当の検品・加温、盛り付け、配膳まで大切な役割を担ってきました。キッチンカー到着後は、スチームコンベクションオープンを使用して加熱するなど、作業の効率化と暖かい食事の提供に努めました。高血圧症、糖尿病、義歯の不具合など様々な栄養相談もこなす等、本当に中身の濃い支援活動となりました。「食事想定のない施設での食事提供と衛生管理の難しさ、被災者のストレス、ADL低下、低栄養など



スチームコンベクションオープンの  
使い方を伝える谷中統括主任



石川県栄養士会(前左1名、後左2名)、谷中統括主任(中央)、JDA-DAT(後右)、内閣府(中央右)、農水省(前右)の視察の方々と共に

多くの課題も感じました」と、活動の詳細が報告会で法人責任者に伝えられました。次の要請を受けつつ、引き続き支援を重ねてまいります。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に関しまして、被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈念申し上げますと共に、千春会グループにおきましては、出来る限りの支援提供に取り組んでまいります。

法人では災害支援チーム派遣はもとより、少しでもお役に立てればと、災害義援金をお送りさせていただきました。今後も支援の継続を行ってまいります。

## 子どもたちは明るく元気にスクスクと!

### 今年も作品展を開催しました! きらら保育園

保育・高齢複合施設 友岡(社会福祉法人和楽会)

今年も子どもたちによる「作品展」が開催されました。「保育・高齢複合施設 友岡」は保育園(0歳~5歳)と特別養護老人ホーム・デイサービスが同じ建物内にあり、子どもと高齢者が自然に触れ合える施設です。歩行に不安のある高齢者の方も同じ建物ですから安心して子どもたちの作品を見に行くことが出来ます。子どもたちの年齢に応じて作り上げた作品は、本当に可愛らしく、頑張りが伝わります。介護スタッフと一緒に階下に降りた利用者さんは「かわいらしいね」「ようできてるな~(よくできているね)」と目を細めて楽しそうでした。



作品を楽しむ  
特養、デイサービスの利用者さん

### 今年もひな祭りを楽しみました! アトリエ保育園

保育・高齢複合施設 西山天王山(医療法人社団 千春会)

毎年アトリエには立派なひな壇が飾られ、ひな祭り行事を楽しみます。最初に先生からひな祭りについてお話を聞き、歌を



色紙で「ちらし寿司」を作る  
子どもたち

歌ったり、大きな紙で「ちらし寿司」も作りました。子どもたちは、折り紙や厚紙で作られた卵やシイタケに興味津々の様子。可愛い手でつまんでは交代しながら少しずつ散らして、大きな厚紙の「ちらし寿司(写真)」が完成。

季節や行事に触れることで、四季や約束事について自然に学ぶことが出来ます。様々な体験を通じて心豊かに健やかにと願います。

# 千春会 災害支援チームを能登半島に派遣

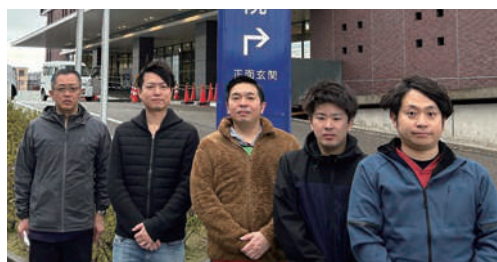
チーム(医師、看護師、リハビリセラピスト、介護士、事務職員)でサポート!!

千春会では、能登半島地震で被災された病院、介護施設への支援として「医師、看護師、リハビリセラピスト、介護士、事務職員」を1グループとした独自チームを結成し、七尾市の恵寿総合病院へ交替で3班を派遣いたしました。第1班の菊地三弥副理事長に様子を伺うと「こちらの病院は、地震発生から全く休むことなく地域の方々のために外来、救急、手術等を平常通り途切れることなく診てくれました。そのためスタッフはもとより、救急医1名もずっと休みなく治療にあたっておられたため、代わりに私が日勤から当直までを担当することでようやく休んでいただくことが出来ました。一見、通常業務が回っているように見えるのですが、被災された職員の方の身体的、心理的ストレスは大きく、被災後に提供し続ける医療の難しさを痛感しました。



一致団結してがんばる被災地施設職員の皆様と千春会メンバー(ありがとう会にて)

私たちがサポートできるのは、ほんの一部でしたが皆さんから『大変ありがたかったです。』と感謝の言葉をいただき、大変な状況下ですが職員の方々は明るく前向きに取り組んでおられました。」とのことでした。



支援の千春会第1班(左より) 訪看ステーション 田辺看護師、菊地三弥副理事長(内科医)、塩井企画課長、武村介護福祉士、岡田作業療法士

また、「災害時における職員の生活維持や復旧をしながらの業務の難しさ、水道がようやく出るようになっても排水することができない状況、大量の物資到着後の管理・分配の問題といった想定外の課題が認識でき、日頃の確認やシミュレーションの等の大切さ」もあらためて感じられたそうです。

チームメンバーも「本当に休みなく一致団結して乗り切ろうとする、皆さんの前向きな気持ちを切に感じました。」とのことでした。

千春会は、これからも被災された地域において、できる限りの支援を継続してまいります。

お知らせ

## 地域のご家族さま向け 介護教室開講

### ご家庭の介護に 一人で悩んでおられませんか?

ご家庭の介護でよくある不安や悩みをテーマとして、専門職による介護教室を開催します。

多くの経験を持つ専門家からのアドバイスや同じような悩みを持つご家族との交流を通じて、自分の抱える介護の悩みを軽減し、心穏やかに介護に向き合うことが大切です。1回だけの参加も可能です。ぜひ、お気軽にご参加下さい。

### 4月開講 参加者募集中

参加無料 1回でもOK

開催日: 毎月 第1水曜日 / 第3土曜日 14時~15時(修了後、希望者は質問や交流時間あり)  
場所: 長岡京市生涯学習センターバンピオ1番館(JR長岡京駅隣接)  
講師: 看護師、セラピスト、管理栄養士、介護福祉士、訪問看護師、訪問介護員、歯科衛生士、介護支援専門員 等

#### セミナー内容(予定)

4月 介護の中の看護の工夫	8月 口腔ケアの工夫	12月 更衣の工夫
5月 転倒予防(外出の工夫)	9月 在宅看護の工夫	1月 介護保険について
6月 食事の工夫	10月 清潔保持の工夫	2月 高齢者疑似体験
7月 在宅生活の工夫	11月 移動の工夫	3月 排泄の工夫

お申込み 研修担当まで  
お気軽にお電話下さい。(075)950-6301 (介護老人保健施設 春風内)

編集後記

本号表紙の長岡天満宮は真紅のクリスマスツツジ(推定樹齢150年)が有名ですが、境内参道の傍らに見える蓮池の風景もひとしおです。黄色の菖蒲、奥に紺の菖蒲、蓮池に映るは緑の木々。目線を変えるだけで、まるで印象派モネの代表作「睡蓮」のような美しさ…。千春会では、3月に能登半島地震の被災地災害支援をさせていただきました。被災地現場で頑張るメンバーと、こちらでは支援中の仲間をカバーして、

なすべき業務をしっかりと進めるメンバーと、どこにあってでも千春会は心一つです。池に咲く華やかな黄菖蒲と地味ながら水面に広がる蓮の葉が一体となり、見事に調和するように。未来に美しい花を咲かせる泥中の蓮に、日々実直に地域を支える職員の努力が重なって。みんなの想いが、きらり輝く春の日差しに…。(弘) 表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

## 患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26  
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615